

調査項目「小中一貫教育について」

1. はじめに

箕面市では、小・中学校において施設分離型や施設一体型などの施設形態にかかわらず、全市的に小中一貫教育を充実するため、小中一貫教育の在り方について検討することとなった。市としてどのように計画を検討していくのか、また市内すべての子どもたちに小中一貫教育の成果を行き渡らせるため文教常任委員会として集中的に調査、研究を行う必要があると考え、「小中一貫教育について」を調査テーマと決定した。

2 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 6 . 1 . 2 3	視 察	広島県呉市 ・小中一貫教育について
R 6 . 5 . 1 1	分野別意見交換会	「小中一貫教育について」をテーマに箕面市立第三中学校、箕面市立南小学校及び箕面市立西南小学校の関係者と意見交換
R 6 . 5 . 1 1 R 6 . 5 . 1 2	地域別意見交換会	「小中一貫教育」をテーマに グループディスカッション形式で意見交換

3. 調査報告と提案

(1) 調査報告

意見交換会では、小中一貫教育の全体像が分からない。明確にしたビジョンを保護者や学校に共有してほしいとの意見や、中学校進学時における中1ギャップや不登校、通級の問題解消の一助になるよう期待するなどの意見があった。

また視察においても、中1ギャップや自尊心の低下、不登校や問題行動の発生が課題となっていたところ、小中一貫教育の導入を契機として、児童生徒合同行事、児童生徒合同活動や小6の中学校部活体験、中学生による絵本の読み聞かせなどに取り組むことで、これらの問題の解消に効果を上げているということが認識できた。

本市においても速やかに本市の小中一貫教育推進計画、具体の取組、メリットなどを保護者に対して説明を行い、保護者、生徒の相互理解の上、実施することが重要である。

（２）おわりに

本年３月に「箕面市小中一貫教育推進計画」が策定され、徐々に中学校区単位で具体の取組が計画されている。

計画は緒に就いたばかりであり、子どもたちの諸課題の解決に「箕面市小中一貫教育推進計画」の効果が表れているかの検証が、これからも文教常任委員会として必要と考えるため、継続して調査することを希望する。